



吉子川



令和7年1月31日(金)
 学校だより NO. 65
 中島村立吉子川小学校
 発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
 のあやめの花に
 住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
 十か条 (1月)
 力を合わせてみんなで前進
 仲間がいるから頑張れる

◇ 児童作文紹介 ～6年 江面 樹さん～ ◇

月曜日のお昼の放送で、挨拶に関する自分の考えを発表してくれた樹さん。樹さんは計画委員として挨拶運動に取り組んできました。1月の吉子川小学校は、計画委員会を中心に挨拶強化月間となり、全校で挨拶名人を増やす取り組みをしてきました。実際、名人が増えました。樹さんの発表した作文を紹介したいと思います。



ぼくたちが普段何気なく使っている挨拶には、感謝を表すものなどがあります。なぜ挨拶をするのか不思議に思う人もいるのではないのでしょうか。ぼくが思う挨拶の大切さとは、挨拶は人の気持ちよくなること、気持ちを伝えることだと思います。例えば、「今日はいい天気ですね」「こんにちは。今日はいい天気ですね」を比べてみましょう。どちらが気持ちがよいのでしょうか。「こんにちは」を付けるだけで清々しく、敬意を示すことにもなると思いませんか。ほかに「いただきます」は、動物や生産者に「ありがとう」の気持ちを表すことになります。つまり、挨拶は感謝や敬意を表す宝物なのです。

ぼくは、挨拶には人の気持ちを相手に教えるバトンのような役割があると考えました。挨拶について考える前は、「挨拶をしないほうがかっこいい」という考えがありました。でも、挨拶について考えるようになってからは、「挨拶をするほうがかっこいい」に変わり、挨拶は人としての礼儀だと分かりました。だから、みなさん、どんどん挨拶をしましょう。

◇ 池田直美先生が休みに入ります ～母子ともにお元気で！～ ◇

2月25日(火)から、5学年担任の池田直美先生が産前休暇に入ります。その後、引き続き産後休暇、育児休業を取得する予定です。それに伴いまして、5年担任は2月25日(火)から、深谷英勝(教務主任)が担当することとします。子どもたちや保護者の皆様には担任変更への不安や戸惑いもあろうかと存じますが、今後も吉子川小学校全職員で子どもたちを支援して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。池田先生は、初任でいらっしやってから約5年もの長期にわたりお勤めくださりました。あやめっ子の成長のため、いつも熱心に子どもたちに向き合ってくださいました。母子ともに健康でありますように！心よりお祈りいたします！

私事で恐縮ですが、2月23日より産休に入らせていただくことになりました。これまで、いろいろとお気遣いいただき、ありがとうございました。体調がすぐれないときに、「大丈夫ですか」「無理はしないでください」と優しい言葉をかけてくれたり、「何か手伝いますよ」「荷物持ちますよ」など、心遣いをしてくれたり、「おめでとうございます」と自分のことのように喜んでくれたり…。子どもたちのその気持ちがとてもうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。吉子川小学校の子どもたちに出会えて本当に幸せだなと思います。

保護者の皆様にも「先生、体を大事にしてくださいね」と、とても温かいお言葉をいただき、感謝しております。皆様からの理解とご協力があったからこそ、ここまでこれたと思っております。

子どもたちと離れるのは、とても寂しいですが、休みに入るまでの期間、子どもたちのために、一生懸命頑張りたいと思います。また、復帰した際には、これまで以上に子どもたちのために尽力したいと思っております。これまでのご理解とご協力、本当にありがとうございました。

